

令和4年度 第1回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和4年5月19日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 10名…小串、加藤、小池、佐久間、高澤、平賀、藤野、丸岡、三澤、山野井
欠席者 0名
事務局 2名…市民生活課 若山、里吉
指定管理者 2名…（特非）YMCA コミュニティサポート 沼崎、北田
傍聴者 1名

配布資料 1 利用状況、利用者の声
2 令和3年度事業報告
3 令和4年度年間事業計画
4 夏のボランティア・市民活動体験 2022 募集要項
5 追浜市民活動サポートセンターの閉館について
6 市民活動サポートセンター印刷機利用料金改定のお知らせ
7 2021年度及び2022年4月の新規登録団体、変更団体リスト、登録団体推移
8 令和4年度運営懇話会日程（案）
9 館内でのマイク使用について

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から、資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・令和3年度は令和2年度に比べて閉館の時期や時間短縮の時期が少なかったことから数値的には増えているように見えるが、実際のところはサポセンは現在も利用制限（50%）しているので、コロナ禍以前と比べると半分以下の状況となっている。
- ・時間が元に戻るにつれて団体の活動も元に戻りつつあるという感覚はある。
- ・利用制限については現在も大きなトラブルなく運営できている。
- ・データベース登録団体は例年3月に一斉送付を行い確認しているため一時的に数は減る。
- ・4月に入って利用が戻ってきたように感じたが、実績としては令和3年度よりも少なかった。これは利用団体数が増えていたことから、密にならないように1団体あたりの来館者数を少なくしされていたことが要因と推測される。
- ・統計資料については前回懇話会でいただいたご意見をもとにレイアウト等の変更を行った。
- ・ホームページのリニューアルに関するご意見については、今後適宜対応していきたい。

(市民生活課：追浜・久里浜について)

- ・令和3年度についてはその前年度である令和2年度に約5か月の臨時休館があったことから前年度比では増えているが、コロナ禍前の直近である平成30年度と比較すると約3割でありコロナ禍以前に戻りには時間を要するものと推測される。
- ・令和3年度についても、市内感染急拡大により約一ヶ月半臨時休館となったことが結果として表れている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・1か月分の実績しか出ていない令和4年度の実績について、前年度と比較する際は令和3年度の合計との比較ではなく、前年度4月との比較のほうが良いのではないか。
- ご指摘のとおりであるため、次回以降は、実績が出ている月までの比較ができるよう修正する。
- (指定管理者・市民生活課)

1-(2)令和3年度事業報告

指定管理者から資料2「2021年度事業報告」に沿って、報告した。

(指定管理者)

- ・令和2年度に引き続きコロナ禍のため新しい生活様式に則り施設の管理運営を行った。
- ・市民活動支援の企画については一部中止となったものもあったが、オンラインツールを利用しながら支援を行った。
- ・令和2年度に引き続き令和3年度も休館期間中に実施した印刷代行サービスは好評であった。
- ・夏のボラ市は、令和3年度に入って1年ぶりに開催することができたが、8月に緊急事態宣言が発出され市内の公共施設が休館となったことから、一部実施することができなかった団体もあった。
- ・のたろんフェアはオンラインを取り入れながら実施することができた。
- ・11年目となるが東日本大震災復興支援については継続して行っている。
- ・指定管理者の更新時期であることから、申請を行い選考を経て次期も指定管理者となった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ピンクシャツデーについて、毎月特定の日に行うことになっていたはずだが、該当する日に貴施設の職員と会った際にピンクシャツを着用していないように見受けられた。
- 法人として毎月ピンクシャツデーを実施することとしていたが、個々の職員については強制できるものではないのでご指摘のとおりとなっている。(指定管理者)
- ・着用するだけでなくピンクシャツを飾るだけでもメッセージ性がある。
 - ・シャツを着る(飾る)際には、理由がわかるように説明があるほうがよい。
 - ・ピンクシャツデーについて関心をもってもらえるとよい。
- 参考にさせていただく。(指定管理者)

1-(3)令和4年度年間事業計画

指定管理者から資料3「2022年度事業方針計画」に沿って、報告した。

(指定管理者)

- ・5期目として新たな指定管理期間となる。

- ・選考に係るプレゼンテーション時に提案した内容を計画に落とし込み実施していく。
- ・照明のLED化など省エネに関する計画は、適宜状況を見ながら進めていく。
- ・BCP（事業継続計画）についても作成を進める
- ・コロナ禍で実施できなかったイベント等についても適宜進めていく。
- ・市民活動団体も高齢化が進んでいることからフレイル予防のための事業も実施していく。

（懇話会構成員からの質問・意見）

・ボランティア団体の抱える喫緊の課題としてイベント等を実施する際の人手不足がある。ユースサポータープログラムは有益だと思ひ活用したいが、最近送られてきたユースサポータープログラムの案内に記載の説明は控えめなように感じる。事業計画内では「ユース」「シニア」等と区分しているが、区分に関わらず相互が関われるような仕組みづくりにして、事業の宣伝をしてもらいたい。

→学校のほうでは、学生の地域活動への積極的な参加を推奨できない状況にあると聞いており、サポートセンターとしても働きかけにくい状況がある。若い方への市民活動団体の期待は大きいものがあることは承知しているが、それらのマッチングはとても難しいため、事務局としてはご指摘のような表現となっていることはご理解いただきたい。

また、ボランティアというのは自発的な取り組みのため、強制することは難しいが、サポートセンター自体も高齢化については課題として認識しており、若い人に市民活動サポートセンターを使ってもらえるような活動をしていかなければならないと思っている。先日学生向けのボランティア相談会を開催したが、開催にあたり事前に学校等へアプローチを行ったが、それでも結果として出席してくれた学生はごく少数であった。今後も皆様のお知恵を借りながら、学生等だけではなく、現役世代でこれから地域デビューする人へのアプローチも行っていきたい。（指定管理者）

- ・サポセンの5年後10年後のビジョンもあったほうがよい。
- ・学生のうち小中学生であればコロナ禍での活動についての抵抗が少ないように感じる。世代を超えて相互に関われるようなボランティア活動を企画してみても、参加した人からの口コミも期待できる。

→夏のボラ市は小中学生も対象としているものがあり、参加してもらうことは可能である。（指定管理者）

- ・制限がなくなり活発になり始めた時期に市民活動団体にアンケートを取るなどして意見を吸い上げたほうが良い。

- ・久里浜や追浜などのサポセンも利用してもらえるように周知すべき。

- ・サポセンの利用目的やアクセス等を記載したチラシを作って配架してみてもどうか。

→チラシについてはイベント毎に作成し周知しているが内容のブラッシュアップは必要である（指定管理者） いただいたご意見については参考にさせていただく。（指定管理者・市民生活課）

- ・このプログラムにエントリーした団体の紹介はどのように行うのか。

→夏のボラ市のように期間を決めているものではなく、半期ごとで随時行うようになる。仕組みとしては団体に登録してもらうとともに学生等にも登録してもらい、団体が登録したボランティアを登録した学生に伝え興味があれば参加するという、いわゆるボランティアバンクのような仕組みとなっている。

- ・三浦半島ユースサポータープログラムにエントリーするには、食事を伴うイベントは不可であるなどハードルが高いように感じる。単体のイベントや子ども食堂はエントリーが難しいのでは。

→現在コロナは落ち着いてきているが、感染対策としてイベントの条件を定めており、要項の準備をし

ていた時はコロナ禍であったことから、感染対策には特に慎重になっている。今後は状況に応じて条件の緩和も検討していくこととなるが、現状は時期尚早と考えているためご理解いただきたい。(指定管理者)

- ・小学生等のこども対象のイベントであれば年代によっては親もついてくる。世代に限らないでできるイベントがあるとよいと思う。世代を分けてしまうと刺激がないと思う。
- ・ユースサポータープログラムの区分のうち、ユースとシニアの間の層なのかもしれないが、「現役社会人」という名称に違和感がある。

→本資料の記載はあくまで事業計画としてのもので、ユースサポータープログラムでは特に世代を分けているつもりはない。イベントや事業に関しては区分をせずに実施するべきものだとして認識している。ここでは「人材育成事業」ということでどのターゲットに対して具体的にどう働きかけていくかというところを計画として落とし込んでいる。また、ユースとシニアの中間世代を具体的な言葉に落とし込むのは難しく、まずはプロボノという切り口で現役社会人のボランティア促進をしていくことを計画しているということをご理解いただきたい。(指定管理者)

1-(4)夏のボランティア・市民活動体験 2022 について

指定管理者から資料4をもとに企画を説明した。

(指定管理者)

- ・昨年に引き続きリアルでの開催を目指して募集を行う。
- ・参加団体については募集開始時には反応があったが、その後停滞気味である。
- ・実施方法や周知は例年と同じように進めていく予定である。(近隣大学へのPRやFM出演など)

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・自分の団体は活動に守秘義務が伴うため、参加者を募りづらい状況にある。活動の紹介だけでもできないか。
- 夏のボラ市はタイトルに「～体験」とあるように、イベントや団体の活動の体験が可能なものを情報として取りまとめ、多くの方々にご案内するものである。団体の活動内容によってはご指摘のように体験という方法に馴染まない活動があるということは承知しているが、今の枠組みとしてはそのようになっており、現時点ではご要望に沿うことはできないが、いただいたご意見を踏まえ今後検討していく。(指定管理者)

1-(5)追浜市民活動サポートセンターの閉館について

市民生活課から資料5をもとに説明した。

(市民生活課)

- ・すでに広報よこすかや市のホームページでお知らせしているが、追浜駅前のサンビーチ追浜内にある追浜市民活動サポートセンターは本年9月末をもって閉館することとなった。
 - ・利用頻度の高い印刷機については追浜コミュニティセンターに移設して使用できるようにする予定
- (懇話会構成員からの質問・意見)

特になし

1-(6) 市民活動サポートセンター印刷機の値上げについて

指定管理者から資料6をもとに説明した。

(指定管理者)

- ・過去の消費税増税（5%→8%）及び直近の消費税増税（8%→10%）の際には印刷機利用料金を据え置いてきたが、昨今の物価上昇によるマスターやインクの価格上昇があり、今年度から価格を改定するもの。

(懇話会構成員からの質問・意見)

特になし

2 議題

サポートセンターデータベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料7に沿って令和3年度及び令和4年4月の新規登録・異動団体について説明した。

(指定管理者)

- ・昨年度の削除団体は例年に比べて多かった。
- ・高齢化していた団体がコロナをきっかけに活動を止めてしまったところもある。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・重複している記載がある。

→記載誤りであるため修正する。(指定管理者)

- ・データベース番号は、団体の削除があった後に変更はしないのか。

→データベースの番号は固有という扱いのため団体が削除となった場合でも欠番として処理している。データベース番号の管理については課題として認識はしている。(指定管理者)

3 その他

3-(1) 令和4年度運営懇話会開催日時について

市民生活課から資料8に沿って説明した。

(市民生活課)

- ・特に都合の悪い方がいなければ、この日程(案)どおり開催したい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・日程(案)どおりで問題ない。

3-(2) 館内でのマイク使用について

指定管理者から資料9に沿って説明した。

(指定管理者)

- ・前回の懇話会の際にお示ししたアンケート結果を踏まえ事務局として検討した結果を今後の方向性として本日お示しした。
- ・マスク着用が日常となっている現在は声が通常に比べて通りづらく、飛沫感染防止のためのマスクをして声を張らないといけないという状況が生じているため、特定の状況下においてマイクを使用できるようにしたいと考えている。

- ・今後の活動の活発化を見据えて、ここでルール作りをしてマイクを使用できるようにしたいと考えている。
- ・懇話会に諮っている理由は、過去にマイク使用を中止した経緯に利用者からの声があったためである。
- ・マイクも声の拡散に配慮したマイクの導入を検討している。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・マイク使用だけではなく話し方（発声）も大切。講習会等もやってみてはどうか。
- 例えばいきいき市民塾の講師の方に講習会を受講してから講演をしてほしいというのはお願いしづらい部分があるが、市民活動団体においては、今後自分の活動内容を発表したりする場もあると思われるので、発声や話し方に関する講習会というのは有益であるため、検討したい。（指定管理者）
- ・本件については懇話会として採決をするなどして意見を集約する必要があるか
- 本件については議題ということではなく、報告事項の側面があるため、利用者の代表である皆様のご意見があればこの場でお伺いし、今後の参考にさせていただくということによいと考えている。
- (指定管理者・市民生活課)

連絡事項

(指定管理者)

- ・配布したチラシは今後の事業の案内となっている。

(市民生活課)

- ・第2回運営懇話会は令和4年8月18日（木）18：30～サポートセンターにて開催予定。

以上